

ポスト万博シティにおける けいはんな学研都市と 学研**高山地区** 第2工区

新産業文化創出研究所 シニアフェロー
MiTi創研 主宰 **石原 康行**



ポスト万博シティにおける
けいはんな学研都市と
学研高山地区第2工区

1

万博の意義と大阪・関西万博
— あの万博は何だったのか —

2

関西文化学術研究都市
けいはんな万博の残したものとその未来

3

時代の求めるもの
孫・子に委ねるAIを前提とした安心社会

4

生駒市と高山地区
奈良先端科学技術大学院大学と高山茶釜

5

学研高山地区第2工区・未来への想像
伝統産業・自然共生と最先端技術

本日は有難うございます
はじめに皆様にお伺いいたします

- 1.大阪・関西万博に行かれた方
- 2.良かったと思われた方
- 3.未来が不安だと思われる方

》万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」

》戦争・パンデミック・脅威のAI

ポスト万博シティにおける
けいはんな学研都市と
学研高山地区第2工区

1

万博の意義と大阪・関西万博
— あの万博は何だったのか —

2

関西文化学術研究都市
けいはんな万博の残したものとその未来

3

時代の求めるもの
孫・子に引き渡すべきAIを前提とした安心社会

4

生駒市と高山地区
奈良先端科学技術大学院大学と高山茶釜

5

学研高山地区第2工区・未来への想像
伝統産業・自然共生と最先端技術

そもそも「万博」って
何だったのでしょうか

国際博覧会（万博）とは 万博とはなんだ・・・これが万博だ

世界180超の国が批准

- ▶ 国際博覧会条約に基づく国家事業
- ▶ 160カ国が参加する世界的イベント
- ▶ 開催国は条約締結国の投票で決定
- ▶ 目的：公衆の教育（≠単なる展示会）
世界中から英知が集結し、人類の未来を考える場

我が国が世界に約束した、人類の未来を
考える超世界的イベント

BIE：博覧会国際事務局の1994年議決

人類の課題解決の場

国威発揚の場
(= 自慢大会)

1851年ロンドン博 (第一回)



1970年大阪万博

人類の
課題解決の場

1994年BIE議決

2005年 愛・地球博 (愛知)

2010年 上海博 (中国)

← 最多来場者数7300万人
より良い都市、より良い生活

未来社会の実験場
“People’s Living Lab”



2025 大阪・関西万博



共に新しい万博の
あり方を考える場

2025日本国際博覧会

大阪・関西万博

2025年日本国際博覧会

略称「大阪・関西万博」

- **会場** : **夢洲** (ゆめしま/大阪市臨海部)
- **開催期間** : 2025年**4月13日** (日)
~**10月13日** (月)
- **来場者数** : 約**2,820万人** (想定)

▶ **テーマ**
いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”

▶ **サブテーマ**

Saving Lives	いのちを 救う
Empowering Lives	いのちに 力を与える
Connecting Lives	いのちを つなぐ

▶ **コンセプト**
未来社会の実験場
“People’s Living Lab”

▶ 目標

SDGsの達成



Society5.0実現

次の社会
Society 5.0



**国内企業
パビリオン**

13 企業・団体
& 日本館
大阪ヘルスケアパビリオン
関西パビリオン

**外国・
国際機関
パビリオン**

公式参加表明
160 力国
以上の機関

**シグネチャー
パビリオン**

8 名の
プロデューサー
によるテーマ館

**未来社会
ショーケース**

2025年
以降の
未来の姿を
様々な実現

**テーマ
ウィーク**

1週間毎に
8つの
テーマ設定
7つの
催事会場

「祭りの後」の重要性

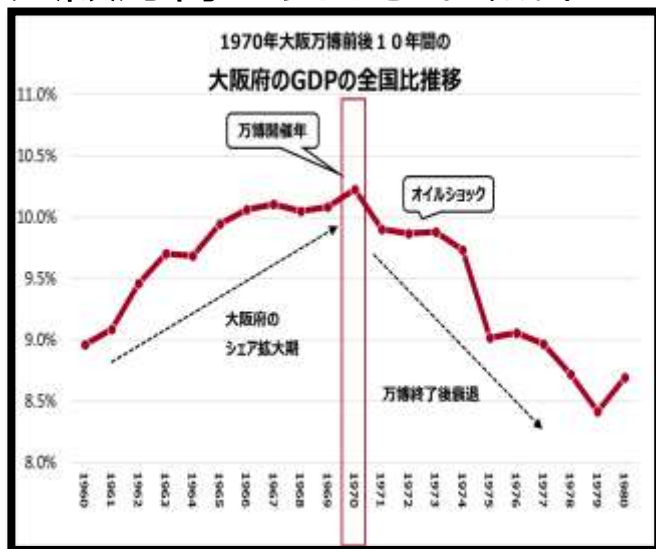
万博閉幕後の課題

▶万博の効果を最大限長期的に継続するために

繰り返してはならない万博閉幕後の万博効果減少

- ✓ 議論：万博の閉幕と共に忘れられる議論も多い
- ✓ 人脈：万博が終わると構築された多くの人脈が切れる
- ✓ 地域経済：これまで万博が閉幕すると地域経済が縮小

1970年日本万国博覧会
大阪万博のあとさき（大阪府）



1990年国際花と緑の博覧会
花博のあとさき（大阪府）



ポスト万博シティの必要性

▶ 万博の効果を最大限長期的に継続するために

万博の成果を受け継ぎ増幅する実験都市機能の必要性

万博成果の消失（自然減衰）

最大の課題：万博終了後の落ち込み

万博成果を増幅

万博成果継承・増幅装置としての
ポスト万博ビジョン

国際SDGs達成交流の十字路
ポスト万博CITY

国際的
革新的技術
交流マッチング装置

国際的
イノベティブ人材
交流・提案装置

関西
文化学術研究都市推進法に基づく
国家プロジェクトの使命

人類の未来の指針となる
万博の多くの成果

万博で提示された
革新的技術や発想

万博で構築された
人脈や人的交流

万博で議論された
未来のあり方

人類の課題解決に向けた
万博の成果

放っておけば
徐々に減衰

そして
消失

ポスト万博シティにおける
けいはんな学研都市と
学研高山地区第2工区

1

万博の意義と大阪・関西万博
— あの万博は何だったのか —

2

関西文化学術研究都市
けいはんな万博の残したものとその未来

3

時代の求めるもの
孫・子に引き渡すべきAIを前提とした安心社会

4

生駒市と高山地区
奈良先端科学技術大学院大学と高山茶釜

5

学研高山地区第2工区・未来への想像
伝統産業・自然共生と最先端技術

未来を引き継ぐ都市
ポスト万博シティとしての
関西文化学術研究都市

(参考) ポスト万博シティ

▶大阪・関西万博アクションプラン（内閣官房）

7. その他

連絡先 経済産業省近畿経産局2025NEXT関西企画室
06-6966-6003

大阪・関西万博の成果を実装する「ポスト万博シティ」の推進

①実施概要

▷問題意識：人口減少・高齢化のもとでも日本の国力を向上させていくためには、大阪・関西万博で披露された革新技術や未来志向の考え方、人脈等の様々な成果を、確実に次代に引き継ぎ、いち早く社会に実装していくためのシステムの構築が不可欠である。（拡張万博）

▷アクション：万博の活動を拡大継承可能なポテンシャルを有する地域を「**ポスト万博シティ**」として位置づけ、会期前・会期中から万博と連動し、万博終了後の成果の継承を意識した活動を展開。具体的には、継続的な技術交流や人的交流・世界に向けた発信等を実施する地域をプレイアップするなどにより支援。

（実施主体）経済産業省、（公財）関西文化学術研究都市推進機構 等

（実施場所）**けいはんな学研都市等を想定**

（実施期間）会期前・会期中、会期後も継続

参考 「けいはんな万博2025」

開催テーマ

『未来社会への貢献～次世代への解～』

●世界の知と産業への「解」●持続的イノベーションへの「解」●科学・生活・文化・自然環境の調和への「解」

事業名称

▶けいはんな万博2025
(KEIHANNA EXPO 2025)

開催時期

2025年(令和7年)4月～同年10月

※機運醸成のため前年から実施する事業、未来に続くレガシーとして期間終了後に継続する事業がある。

開催場所

けいはんな学研都市の全域が連携して一体的に実施

②今後の実施方針

- ・拡張万博としての「ポスト万博シティ」概念の広報・啓発及び社会実装に向けた検討(広報戦略を含む)
- ・上記に基づき、2025年日本国際博覧会協会や**けいはんな学研都市等**と連携して、情報発信のためのイベント等を検討。
- ・会期後は、それらの経験を活かした万博成果の拡大継承事業を展開し、未来を先導する「ポスト万博シティ」を推進。

③予算

未定

④工程表

	2023年度	2024年度	2025年度・以降
Action	拡張万博啓発活動		
		ポスト万博シティの検討	
	360°EXPO拡張マップ／ポスト万博シティマップ等の作成・広報		
なけいはんなの参考	パイロットイベントの実施 例：けいはんなアバターチャレンジ等	大阪・関西万博の成果継承をめざした プレイイベントの開催	大阪・関西万博と連動した拡張万博 けいはんな万博開催 例：フォーラム・展示会等拡大

大阪・関西万博のレガシー展開

「大阪・関西万博 理念継承とレガシーの発展に向けて」

》万博で創られた「つながり」の拡大・発展

- ・万博では、多様な主体が連携した技術・社会実証や海外とのビジネスマッチングなどの経済面でのつながりに加え、来場者や運営管理者も個々に海外とのつながりを構築した。また都市間レベルでも新たな海外ネットワークを拡大した。

》最先端技術等の実装化・産業化

- ・万博で注目された最先端技術等について、政府において検討中の「成長戦略」、**「地域未来戦略」**の政策パッケージ等を有効活用し、実装化・産業化を支援する。
- ・大阪・関西では、産官一体となりオール関西のトップマネジメントによる「未来創造会議」を立ち上げ、特に大阪・関西で強みを持つ分野について実装化・産業化を支援する（**次世代モビリティ、再生医療、カーボンニュートラル、スタートアップ・新事業共創ファーム**等）。

赤字：Key Word

<https://www.meti.go.jp/press/2026/06/20260616002/20260616002.html>

けいはんな万博が
夢見たもの

けいはんな万博 2025

「けいはんな万博2025」は、高い研究開発力と豊かな歴史文化資源に恵まれた
けいはんな学研都市の総力を挙げて、素晴らしい未来社会の実現に貢献しようとする試みです。
楽しく期待感のある様々なコンテンツを展開することにより、科学技術や文化の
力で人類が直面する様々な課題に解を与え、健康で平和で豊かな未来の実現に寄与したいと考えています。

--- テーマ ---

「未来社会への貢献 ～次世代への解～」



--- 開催時期 ---

2025年(令和7年)4月から10月の期間を中心に、
4つのフェスティバルなど様々な催事を展開

2026年6月16日 経済産業省 成果検証報告書 けいはんな万博2025の記述

「大阪・関西万博 理念継承とレガシーの発展に向けて」

2025年日本国際博覧会 成果検証委員会報告書

<https://www.meti.go.jp/press/2026/06/20260616002/20260616002.html>

「けいはんな万博2025」

けいはんな学研都市では、「ポスト万博シティ」としての万博の成果継承を見据え、拡張万博の一環として2025年4月より「けいはんな万博2025」を開催。

「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマに、同都市の強みである研究開発力と文化資源を活かし、「ロボット・アバター・ICT」、「ウェルビーイング」「スタートアップ」「サイエンス&アート」など多様な分野でイベント、ワークショップ等を展開。約20万人が参加。



けいはんな万博2025

けいはんな宣言内容

2026年1月9日

<https://keihannaexpo.org/>

- 様々な立場の人々が気軽に集うコモンズが整い、共に考え、共に学び、共に創る共創のネットワークが一層広がる中で、**人材を育て、新たな文化や価値観、研究開発のアイデアを生み出す都市**
- 絶えず**イノベーション**を生み出し、社会における**実証、実装**を促進することで持続可能な事業や産業を育む都市
- 豊かな**歴史文化**に基づく多様な叡智を集め、科学技術を**人間の幸福につなげる理念と成果**を、日本全国、さらに世界へと**発信する都市**
- 誰もが科学の進歩や文化の**豊かさを享受**し、夢や希望に満ちた**未来への高揚感**を感じられる都市
- 誰ひとり取り残さず、あらゆる人々が**健康で平和で豊かに暮らせるウェルビーイング**に満ちあふれた都市

これらを実現するため、けいはんな学研都市が一体となって挑戦を続けます。

ポスト万博シティ としての
関西文化学術研究都市
第5期ステーションプラン

けいはんな学研都市第5期ステージプラン ～ポスト万博シティけいはんな～ 2026年3月27日

2026-2035までの10年間の都市ビジョン

https://www.kri.or.jp/news-event/news/20260514_1855.html

本都市が果たすべき役割 2035

『**世界**の未来への貢献』

『多様な**知と文化**の融合による新たな価値創造』

目指すべき都市像

- ① 研究成果を現実社会に活用し、持続的に発展する「**未来都市**」
- ② イノベーション創出の原動力となるクリエイティブな人材が活躍する「**人材成長都市**」
- ③ 異なる価値観が交差し、新たな連携・交流が生まれる「**共創都市**」

取り組みの柱

① 社会課題の解決
につながる研究成果
を実装

② イノベーションを推
進する交流連携と情
報発信

③ 科学技術と結びつ
いた新たな文化創造

④ 都市形成と交通
アクセスの利便性向
上

⑤ 新ビジョン推進の仕組みづくり

ポスト万博シティにおける
けいはんな学研都市と
学研高山地区第2工区

1

万博の意義と大阪・関西万博
— あの万博は何だったのか —

2

関西文化学術研究都市
けいはんな万博の残したものとその未来

3

時代の求めるもの
孫・子に引き渡すべきAIを前提とした安心社会

4

生駒市と高山地区
奈良先端科学技術大学院大学と高山茶釜

5

学研高山地区第2工区・未来への想像
伝統産業・自然共生と最先端技術

現世代の責任として解決すべき **未来への課題**

世界はこれで良いのか

》戦争・紛争の時代

- ・米国・イラン紛争（イラン戦争）
- ・ウクライナ戦争（ロシア・ウクライナ戦争）
- ・ガザ戦争（イスラエル・ハマス紛争）
- ・スーダン内戦
- ・ミャンマー内戦

2030年までの目標

》もう達成できないのか

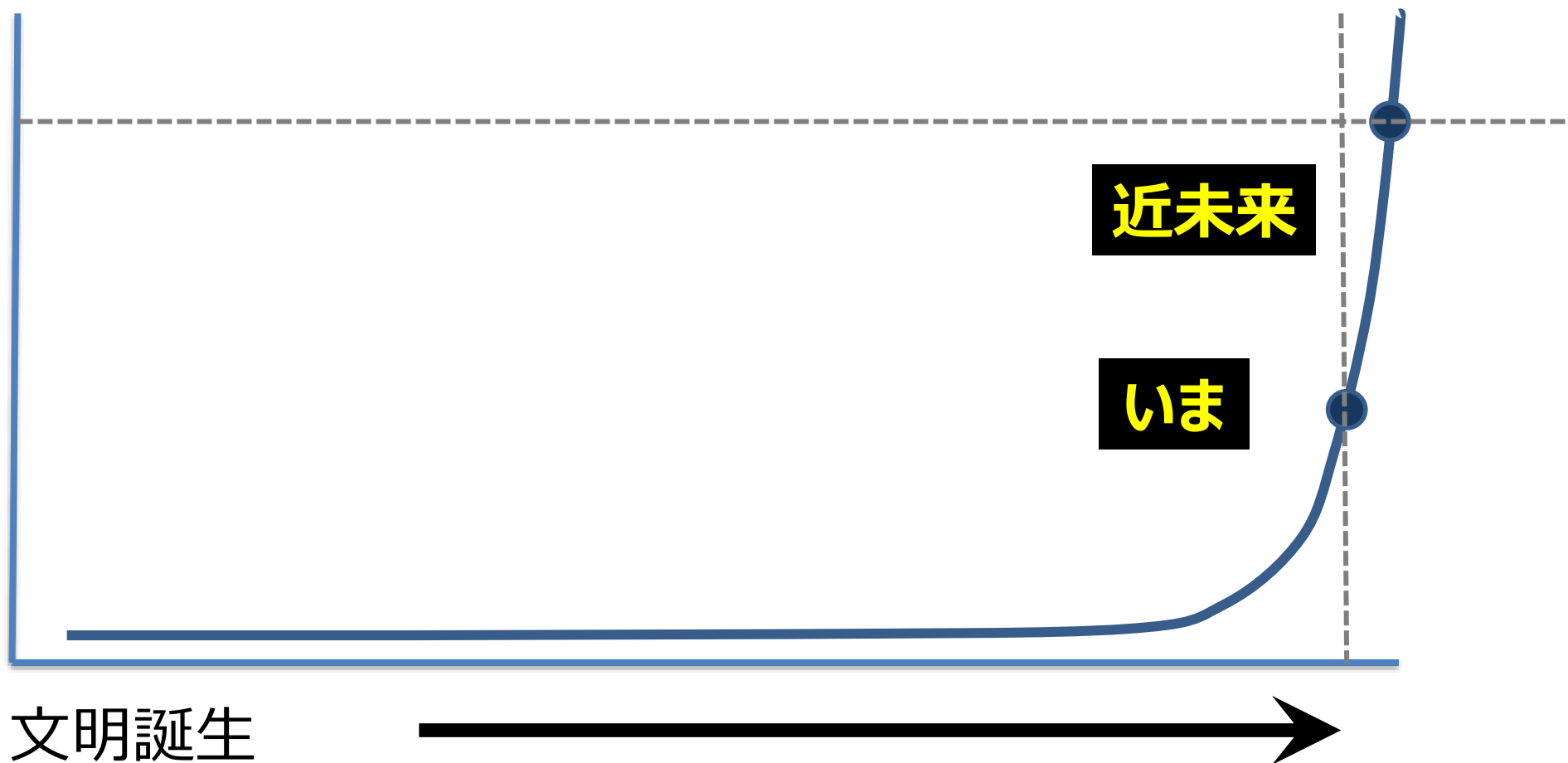


》地球環境・食料エネルギー問題 / AIの暴走

- ・気候変動のような**環境問題**、**AIの暴走**等に関する防御策
- ・**分極化・分断化**の時代、課題解決のための**人々の団結**が必要
持続可能な開発、健全な環境、住み続けられる地球、すべての人にとっての安全・安心・尊厳といった優先課題

人類にとって一大事かも

様々な指標でこんな曲線を見かけませんか



救世主か破壊神か
AIへの警戒
♪敵に渡すな大事なリモコン

AIの本質をビジネスの視点で考える

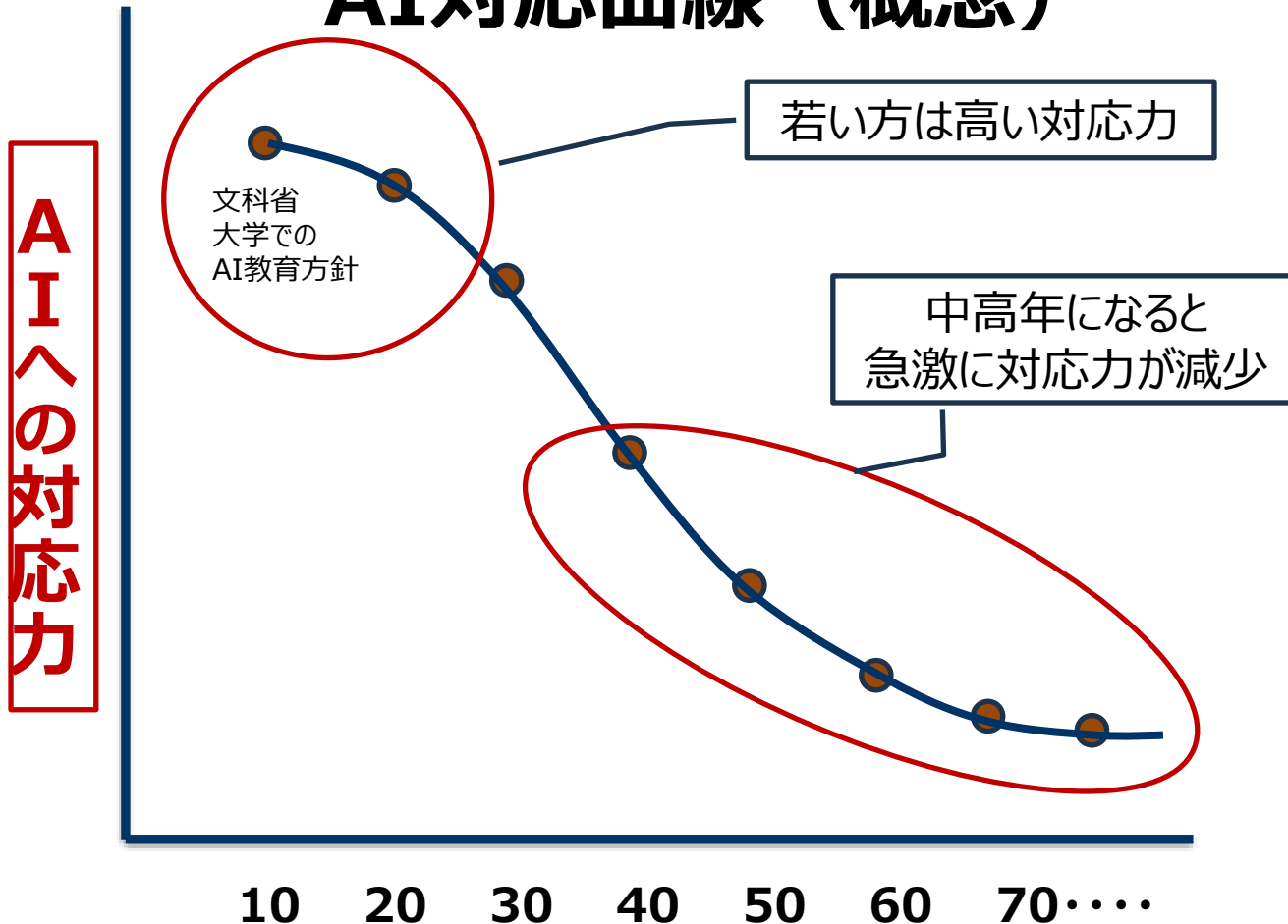
人はAIの何に驚いているか

》AIの進化 5つの驚き

1. 人とまちがう自然な対話力 **（人を感じる）**
2. 人の作業の高速代替 **（人間不要）**
3. 想像を超える進化速度 **（制御不能感）**
4. 誰でも表現者になれる（創造性の民主化）
5. 自己の鏡像化（潜在的自己発見）

AI問題は中高齢者問題 中高齢者に**不利**な社会

AI対応曲線（概念）



AIエージェントを
使いこなせば
10人力の仕事が可能

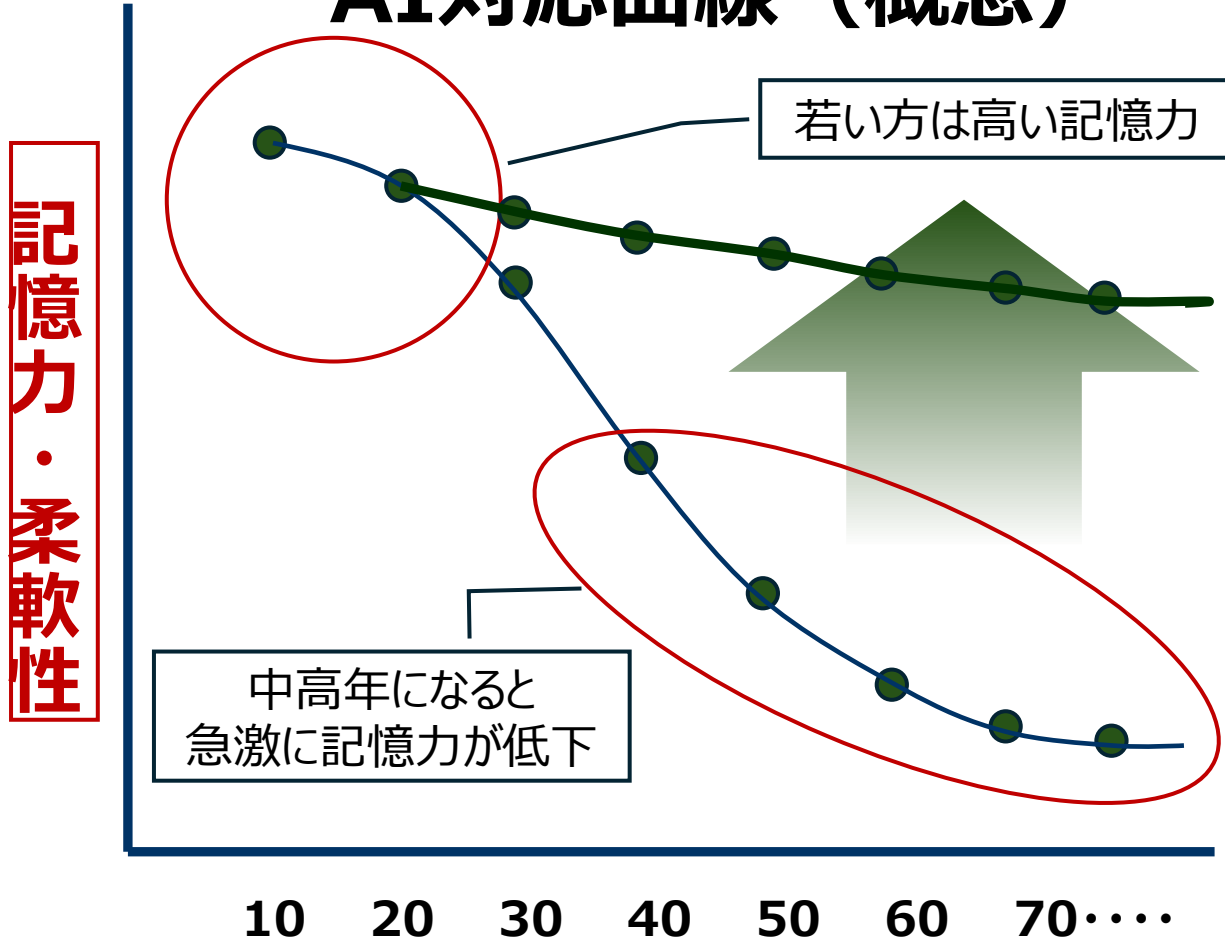
AIは知識はもとより
経験でさえも包括
ベテランの経験が不要

若い方は、AIに対する
対応力が高い

全ての面でベテラン＝
中高年はAIネイティブ
に全く勝てない
（残酷な逆転現象）

AI問題は中高齢者問題 それとも中高齢者に**有利**な社会

AI対応曲線（概念）



中高年は記憶力や柔軟性が低下
（低い方を含む）

AIにより、低下した記憶力・柔軟性をサポート

若い方と同等の感覚を取り戻せる

全ての面でベテラン＝
中高年は若者と対応に勝負することが可能となる

人間という生物の対応力が問われる AI依存・AI脳（思考の変化）

AI依存

- 》判断、文章作成、学習、企画、更には**友達・恋人までをAIに任せる**ようになる。
- 》メリット：生産性向上・判断が速い・専門知識・ミスが減る・そして「**心の安寧**」を得る
- 》デメリット：**自分で考えず**判断力低下、AIの誤りが分からない、AI価値観に影響される、**AIパートナーなしでは不安**

AI脳（思考の変化）

- 》AIを使うことが日常になると、考え方そのものが変わる可能性
- 》自分で考える前にAIへ聞く、AIの答えを前提に判断、**記憶より検索・AIに頼る**
- 》「考える」から「AIを使いこなす」への思考スタイルの変化

我々は次世代に
どのような社会を
残していくべき
なのでしょう

ポスト万博シティにおける
けいはんな学研都市と
学研高山地区第2工区

1

万博の意義と大阪・関西万博
— あの万博は何だったのか —

2

関西文化学術研究都市
けいはんな万博の残したものとその未来

3

時代の求めるもの
孫・子に引き渡すべきAIを前提とした安心社会

4

生駒市と高山地区
奈良先端科学技術大学院大学と高山茶釜

5

学研高山地区第2工区・未来への想像
伝統産業・自然共生と最先端技術

外から見た勝手考
生駒市高山地区

学研北生駒駅

48



高山八幡宮

50



関西文化学術研究都市 高山地区のポテンシャル -私見-

1. 学研都市11クラスターの内
現在人口から計画人口増加倍率が最も高い地区
＝最も将来発展期待の高い地区

約**42**倍

2. 学研都市11クラスターの内
最も**大阪経済圏に近い地区**

約**30**分

森ノ宮－学研北生駒

3. 閑静な住宅街から伝統産業・農村・森林が共存
土地種別・地目種のバリエーションが非常に豊富
人類の理想の**未来を実証**するに最適

喧噪感のない
理想の**生存**環境

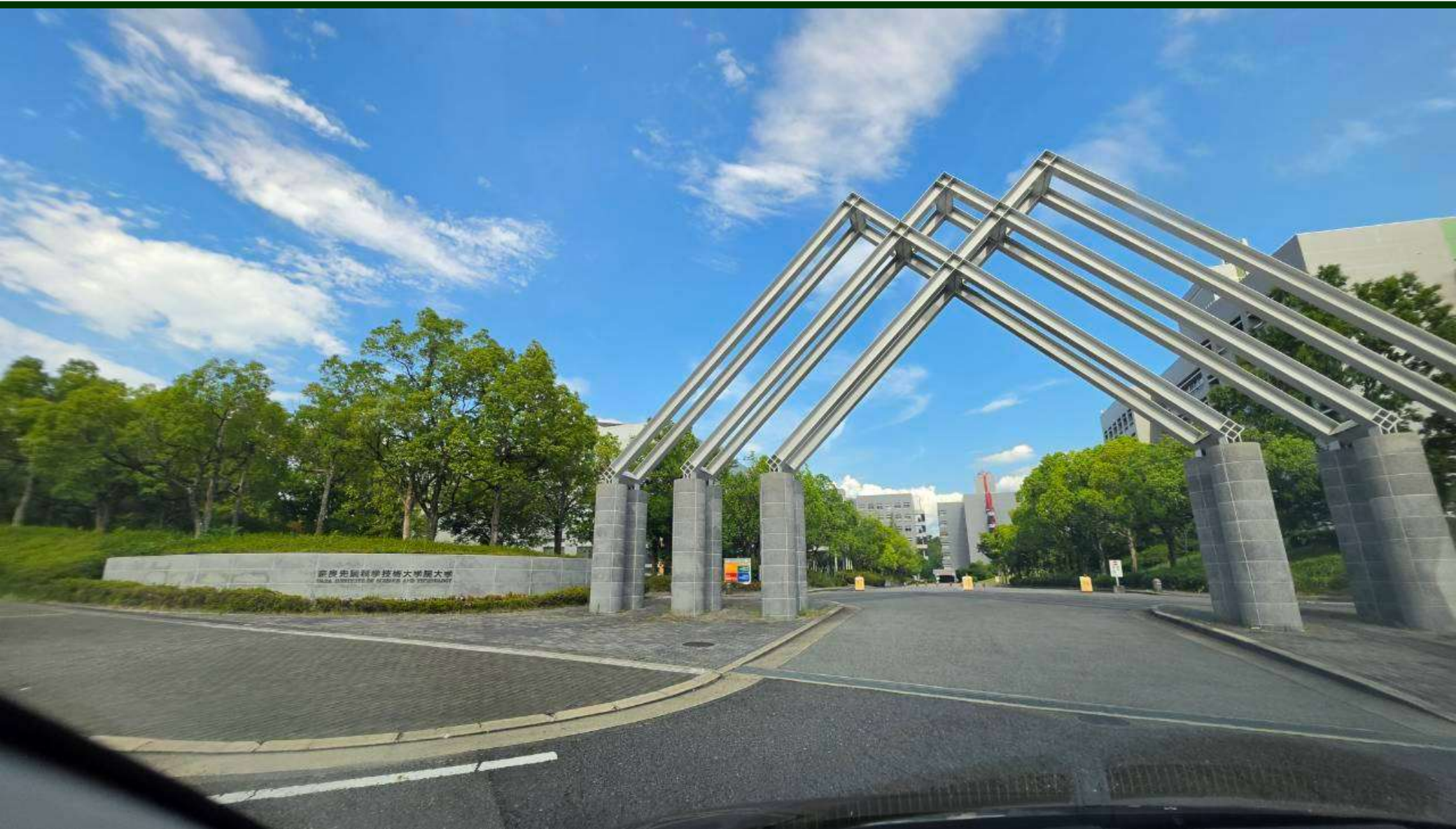
最大のポテンシャル

奈良先端科学技術 大学院大学



奈良先端科学技術大学院大学

53



すごいぞ地元アカデミー 奈良先端科学技術大学院大学

J-Peaks：地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（文科省）
独立行政法人日本学術振興会（JSPS）に基金を設置して実施

採択大学は全国で**25大学のみ**

[https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/
platform/mext_02062.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/platform/mext_02062.html)

令和6年度（2024年度）

奈良先端科学技術大学院大学 **採択**

研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、
国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に
貢献する大学（5年間で総額55億円）

株式会社国際電気通信基礎技術研究所／東京工業大学／情報・システム研究機構 国立情報学研究所／物質・材料研究機構／奈良県立医科大学／産業技術総合研究所／情報通信研究機構／University of California, Davis／Eidgenössische Technische Hochschule Zürich／University of Strasbourg／University of Bonn／Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg／Universitas Gadjah Mada／IPB University／Universitas Indonesia／Badan Riset dan Inovasi Nasional／Universiti Malaysia／Universiti Sains Malaysia／Universiti Tunku Abdul Rahman／Kasetsart University／Chulalongkorn University／Vietnam National University, University of Science／University of Science and Technology of Hanoi／Vietnam Academy of Science and Technology, Institute of Biotechnology／Vietnam Academy of Science and Technology, Institute of Materials Science／University of Philippine, Diliman／Ateneo de Manila University

情報科学、**バイオサイエンス**、**物質創成科学**

すごいぞ地元アカデミー <https://www.naist.jp/research-achievements/> 奈良先端科学技術大学院大学

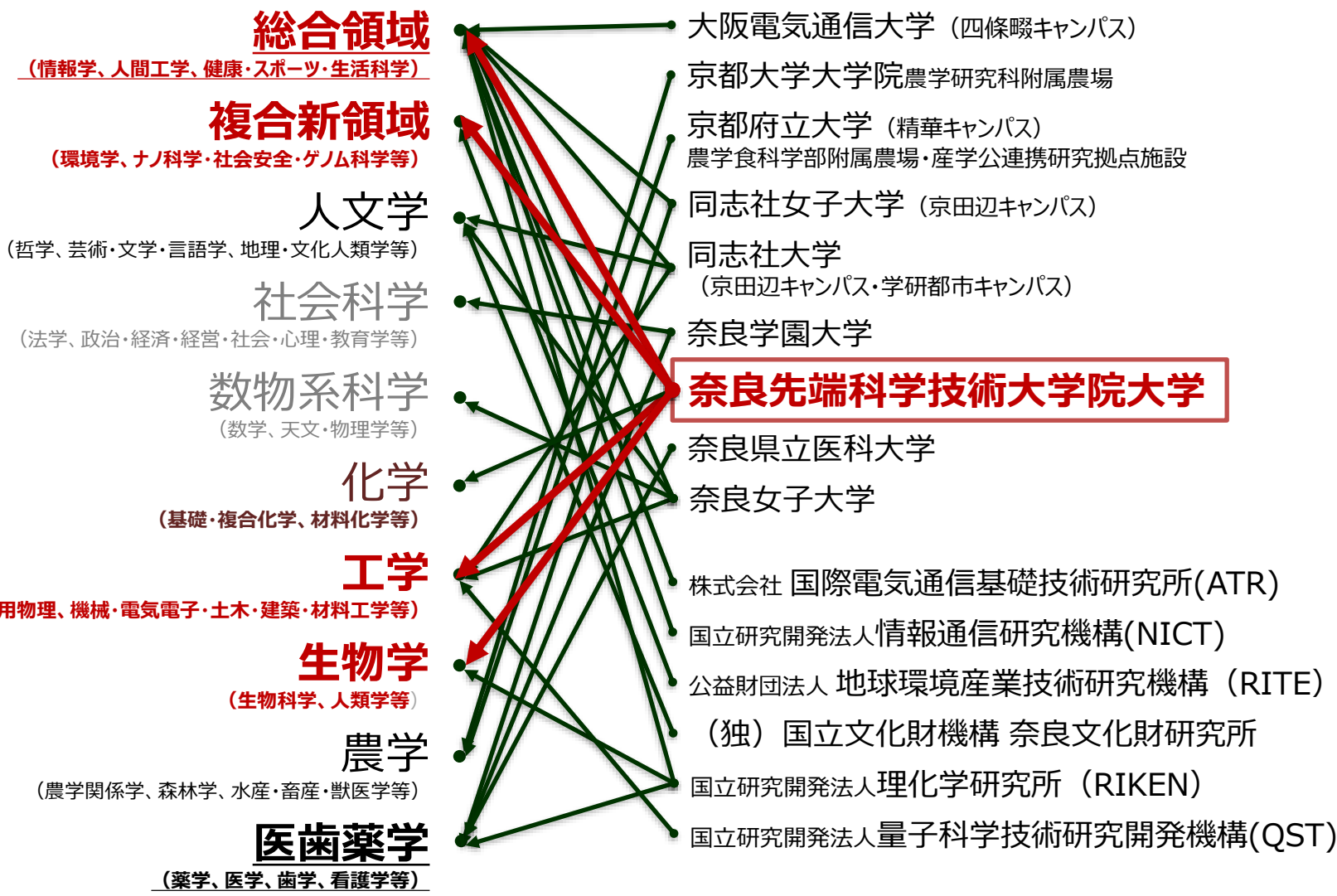
教員1人あたりの外部研究資金・科研費の獲得額 **高品質な科学論文の出版割合**

- 寄生植物は自分の仲間をなぜ襲わない？
～「自己回避」の仕組みを世界で初めて解明～
寄生雑草の新たな防除戦略に期待
- 世界初、チームの共通認知をチャットメッセージから AIでリアルタイムに推定し、チーム状態の変化を可視化できる技術を開発
- 振動の力で温室効果ガスを変換
—カーボンニュートラルに貢献するCO₂変換の新技术—
- がん患者のエピソードを活かした AI ピアサポーターを開発
～患者仲間の立場から、有用な体験談を抽出・呈示～
- 奈良先端科学技術大学院大学 × 月桂冠総合研究所
酵母の成長スイッチ TORC1 を操作し、日本酒の香味を自在に調整
—吟醸香や酸味成分を調整する可能性—
- リアル空間とバーチャル空間を自然に行き来できるMR技術
「World Link Door」の体験型実証実験を開始

情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学

奈良先端科学技術大学院大学を中心とする けいはんな地区の大学・研究機関等

学術分類表による分野分類（文科省）



政府目玉施策
骨太の方針2026
地域未来戦略考

戦略17分野

引用

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/nipponseichosenryaku/index.html>

- ①国内の経済安全保障等の様々なリスク低減の必要性、
②海外市場の獲得可能性、③関係技術の革新性等の観点から特定。

(1)AI・半導体

(2)デジタル・サイバーセキュリティ

(3)情報通信

(4)量子

(5)防衛産業

(6)航空・宇宙

(7)海洋

(8)造船

(9)マテリアル

(重要鉱物・部素材)

(10)合成生物学・バイオ

(11)創薬・先端医療

(12)資源・エネルギー安全
保障・GX

(13)フュージョンエネルギー

(14)防災・国土強靱化

(15)港湾ロジスティクス

(16)フードテック

(17)コンテンツ

経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針） 2026 「責任ある積極財政」元年～日本の挑戦を起動する！～

「主要製品・技術別 官民投資額上位項目**トップ10**（情報科学系とバイオ・医薬系に集中）

https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2026/0721_shiryo04.pdf

- ① **フィジカル・インテリジェント・システムの中核を担う半導体（AI・半導体）**
： 68.0兆円（2040年度まで）
- ② **クラウド・データセンター、蓄電池（デジタル・サイバーセキュリティ）**
： 32.7兆円（2035年度まで）
- ③ **ゲーム（コンテンツ）**
： 24.5兆円（2033年度まで）
- ④ **ファーストインクラス製品・ベストインクラス製品（創業・先端医療）**
： 23.4兆円（2040年度まで）
- ⑤ **バーティカルAI（領域特化型AI）（AI・半導体）**
： 23.1兆円（2040年度まで）
- ⑥ **バイオ医薬品・再生医療等製品等（バイオ / 創業・先端医療）**
： 20.8兆円（2040年度まで）
- ⑦ **次世代ワイヤレス（非地上系ネットワーク、5G/Beyond5G (6G)）（情報通信）**
： 20.5兆円（2040年度まで）
- ⑧ **バイオものづくり（合成生物学）（バイオ）**
： 12.8兆円（2040年度まで）
- ⑨ **革新的デバイスを活用した先端医療（創業・先端医療）**
： 11.6兆円（2040年度まで）
- ⑩ **フィジカルAI（特にAIロボット）（AI・半導体）**
： 10.5兆円（2040年度まで）

政府予算編成改革の目玉 「強く豊かな日本」投資枠

2027年度予算案から創設される成長・危機管理 特別予算枠

- 》**成長・危機管理分野への集中投資：** AI・半導体など、国内投資や潜在成長率の引上げ、経済安全保障に資する分野へ重点配分。
- 》**要求上限（シーリング）の撤廃：** 各省庁が財務省に予算を要求する際、例年設けられる金額の上限を設定せず、必要な投資を大胆に促進。
- 》**複数年度の計画的な運用：** 単年度ごとの予算編成ではなく、複数年度にわたる計画を基本とし、政策の予見可能性を高め、民間企業の大規模な設備投資を呼び込む。
- 》**補正予算依存からの転換：** 経済成長や危機管理に必要な投資を、補正予算で後追いするのではなく、複数年度の計画に基づき、当初予算から予見可能性を持って実施

「前年の予算額」ではなく、「成長効果・民間投資誘発効果」から必要な予算額を判断

政府が進める地域未来戦略 3つの計画類型

項目	戦略産業クラスター	地域産業クラスター	地場産業成長プラン
主な対象・分野	半導体、電池、航空宇宙など政府が指定する17の戦略分野	地域を牽引する中堅企業や特定の重点産業分野	農林水産・食品、観光、スポーツ、伝統工芸品などの地域資源
規模感 (想定エリア)	広域ブロック単位（複数の都道府県にまたがる）	都道府県単位（複数の市町村にまたがる）	市区町村～都道府県単位
主な取組み・目的	企業の大規模投資を中心に、道路、工業用水、鉄道などの周辺インフラ整備や人材育成を一体的に実施。	知事などの主導で力を入れる分野や企業を特定し、複数自治体の連携や中堅企業支援策をプッシュ型で提案・拡大。	未活用資源の発掘や加工度向上、域外・海外の新たな商流開拓を進め、付加価値の創出と「地産外商」を推進。

ポスト万博シティにおける
けいはんな学研都市と
学研高山地区第2工区

1

万博の意義と大阪・関西万博
— あの万博は何だったのか —

2

関西文化学術研究都市
けいはんな万博の残したものとその未来

3

時代の求めるもの
孫・子に引き渡すべきAIを前提とした安心社会

4

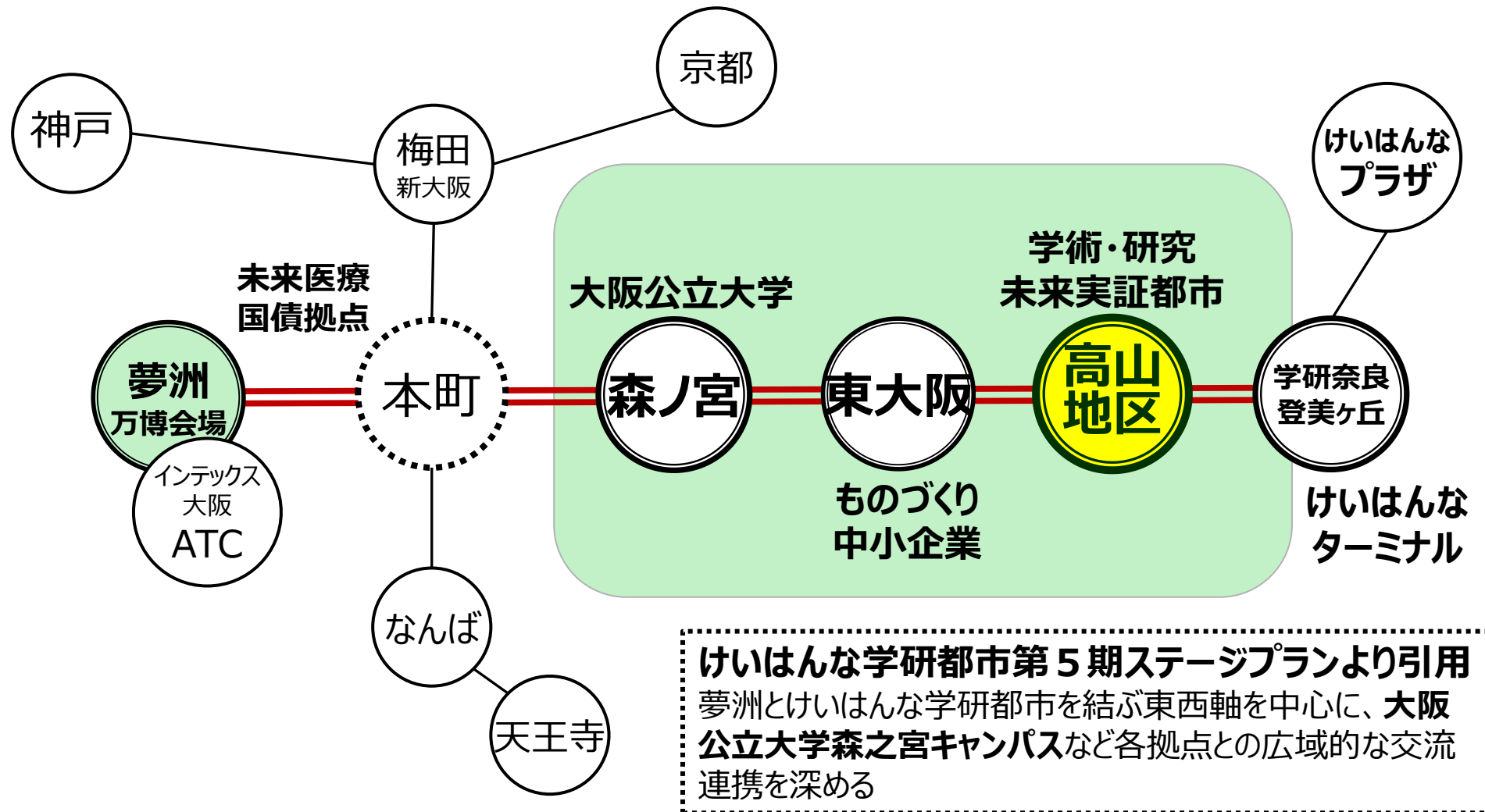
生駒市と高山地区
奈良先端科学技術大学院大学と高山茶釜

5

学研高山地区第2工区・未来への想像
伝統産業・自然共生と最先端技術

高山地区第2工区の 未来を勝手に想像してみました

高山地区から延びる横軸 万博レガシー継承ロード案



高山地区から延びる縦軸：茶街道 構想
やっぱり茶釜イメージが印象的

》飛躍発想

抹茶を嗜む（茶道等）に 最低限必要な要素

1.抹茶 ➡ ブランド宇治

2.茶釜 → ブランド高山

3.茶碗 ➡ ブランド京焼

抹茶を嗜むのに最低限必要な、抹茶、茶釜、茶碗を想起させるブランド地域として、宇治・高山・京焼を考え、これらの地域を結ぶ地域概念を「茶街道」として観光アピールロードにすることを考えました



高山地区の未来関係図

高山地区第2工区の未来を考える

》 実証
実験

》 頭脳
交流

》 知恵
蓄積

》 未来
発信

関西文化学術研究都市
第5期ステージプラン（ポスト万博シティ）

高山地区
資産

自然・都市・伝統



連携
融合

学術要素

奈良先端科学技術
大学院大学等

日本・世界の企業の参入
(実証実験・社会実装の促進)

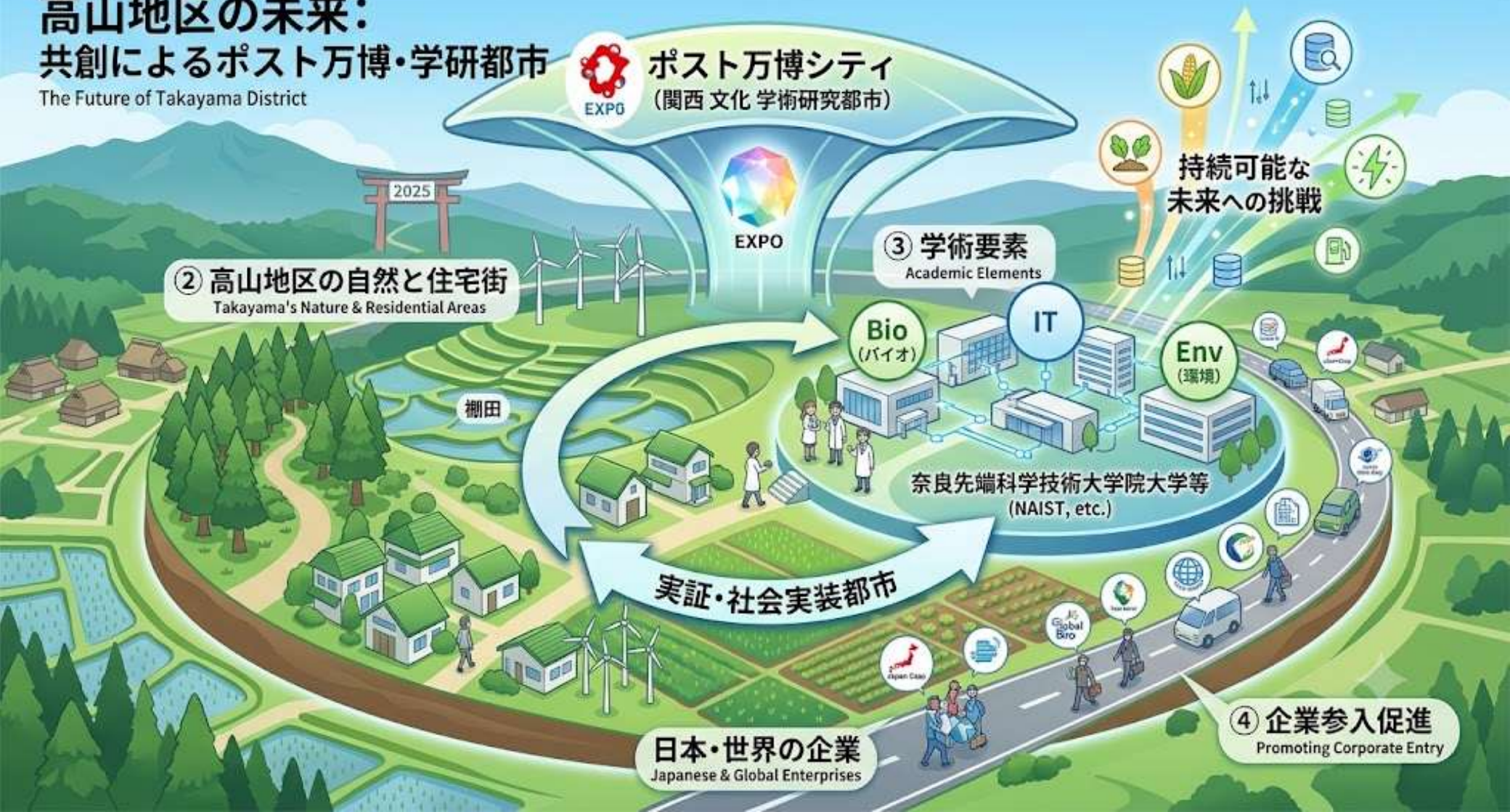
高山地区の未来関係図

高山地区第2工区の未来イメージ例

高山地区の未来:

共創によるポスト万博・学研都市

The Future of Takayama District



スペイン サンタンデール市

Smart Santander

》街中にセンサーを埋め込んだら、世界中が実験にきた

サンタンデール市におけるセンサー設置状況(フェーズ1)

- 街頭に1300個のセンサー(気温・光度等のサービス提供用に650個、実験用に650個)を設置
- 駐車場に325個のセンサーを埋め込み



スマートパーキング: 空きスペースを検知し、ドライバーのスマートフォンに空き情報を送信することで駐車場の探す時間を短縮。

ゴミ収集の最適化: ゴミ箱の堆積量を計測するセンサーを設置し、満杯になったゴミ箱だけを回収する効率的なルートを構築。

環境・交通モニタリング: 気温、湿度、大気汚染物質、騒音、交通量などをリアルタイムで収集し、都市環境を最適化。

街灯の自動制御: 人や車の通行状況に合わせて街灯の明るさを自動調整し、エネルギー消費を大幅に削減。

提案・・・例えば 実証実験コミッション制度

▶ 実証実験シティのアクション例

万博における実証実験（長所と短所）

- ・大阪・関西万博は実証実験を前提としており、実験実施に関する制約は少ない
- ・人工島での実施は、住民のいる実環境とは違い、更なる実環境での実証が必要な場合も予想される

高山「実証実験コミッション制度」

実証実験実施者からの要請を受け、地域の研究機関、自治体や警察などの関係機関と調整し、実証実験がスムーズに実施できるよう、場所の提供や人的支援等々含め全面的に協力する。

▶ 参考：フィルムコミッション（映画撮影等における地域の協力）

- ・フィルム・コミッション（Film Commission）とは、地域活性化を目的として、映像作品のロケーション撮影が円滑に行われるための支援を行う公的団体。
- ・具体的にはロケ撮影に際して、映像制作者と地域社会（自治体、施設所有者など）との間に入り、各種連絡・交渉などの調整係の役割を果たす。

私の妄想的アイデア集 高山バレー

デジタルデトックス「高山リトリート」研究案

喧噪の大都市圏から僅かな距離の高山地区において、あえて「**デジタル環境ではない空間**」を確保し、人間性を取り戻す効果研究と聖地化

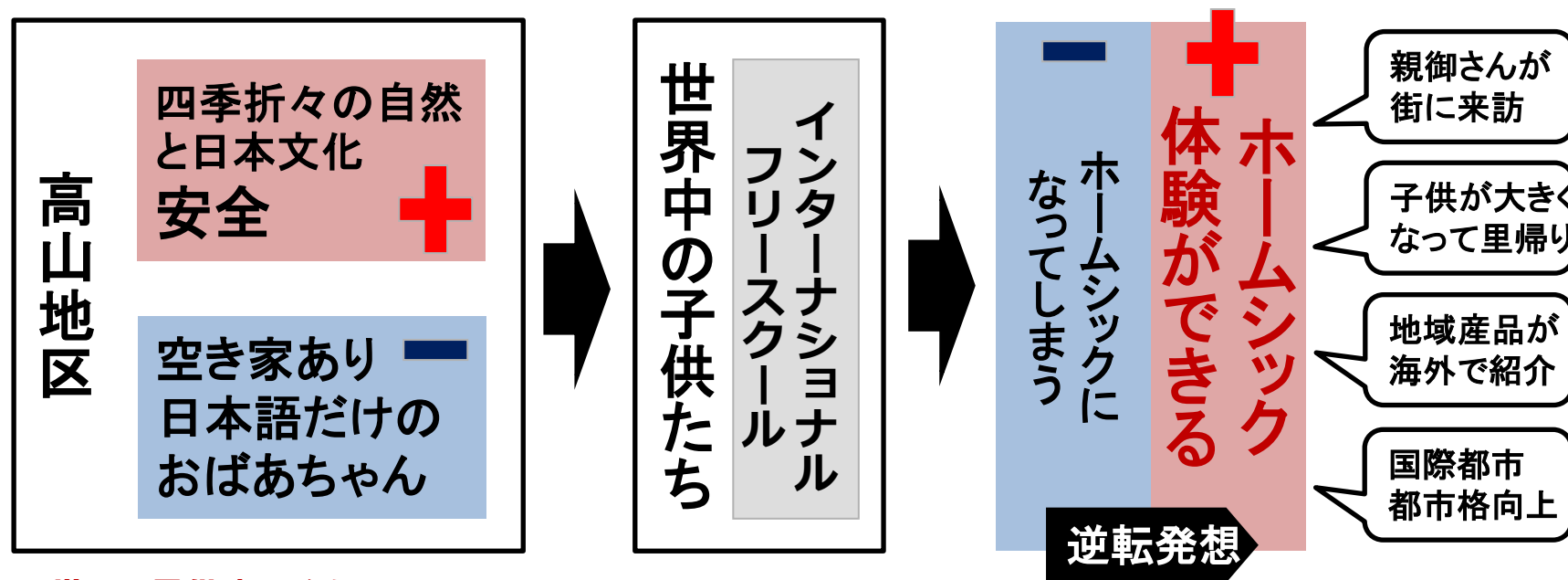
》デジタルデトックス：

スマホやPCなどのデジタル機器と意識的に距離を置き、脳や心身の疲労を回復させる取り組み

》リトリート：

仕事や日常生活から一時的に離れ、自然豊かな環境で心身を癒やし、自分自身を見つめ直す

高山インターナショナル・フリースクール案



■世界の子供達：イメージ

- ・冬は雪を見たことがない熱帯地方の子供達を
- ・夏は日ざしの少ない地方の子供達を

■受け入れ家族：イメージ

- ・田舎の家屋で空き部屋のある家庭
- ・子供/子育てが好き、子供が巣立った家庭
- ・農家で合間に少し手伝って欲しい家庭

ホームシック体験

日本語が全く分らない子供が、親の下を
離れ、日本でホームシックとなっても地域の
ケアにより一回り大きくなるプログラム

高山 デジタル祭 案

参考：日本三大祭りの「高山祭」は
岐阜県高山市

1. 世界中で「輪＝和」を想起させる「日本の盆踊り」が人気（NHKスペ特集）
2. 誰もができるシンプルな踊りで万博でもリングの上で開催（万博レガシー）
3. 住民とアバターロボが輪になって盆踊り大会を実施（フィジカルAI）



学研高山地区第2工区マスタープランから想起される

実証実験・実装都市（高山バレーのイメージ例）



世界で初めての光ファイバーの双方向実験都市 未来を創った生駒市「Hi-OVIS」から48年・・・そして今



Hi-OVIS (Highly-interactive
Optical Visual Information System)
世界初の光ファイバー網による双方向
映像情報システムの社会実験プロジェクト

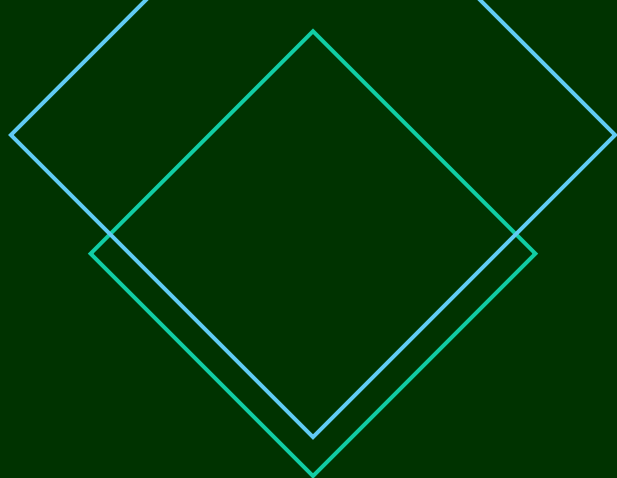
実施期間：1978年～1986年

実験場所：生駒市東生駒地区

対象：一般モニター家庭（156世帯）
公共施設

現在のインターネット、動画配信サービス、
双方向番組、オンラインショッピングなどの
原型となった試み

未来に向けた
高山の発展に
期待いたします



有難うございました